

設立趣旨書

現代社会の問題点は多種多様にあり、そのすべてに対応することは非常に難しい。そのような状況下において、個人や団体、NPO 法人を始めとする営利を目的としない法人（広義には、社団法人・財団法人・社会福祉法人等を含む）が、夫々に取り組む問題を定め、問題解決に従事している。

しかしながら、NPO 法人を例にすれば、大半が職員数10人以下であり、4割が予算1000万円以下の人的にも予算的にも小規模な法人が多いという統計が有る。

目的が何であれ事業を行うとなれば、たとえ問題への着眼がよく、解決方法を見いだせたとしても、マンパワーや予算的規模によって、実際に問題解決のために活動できない場合があると言えよう。

このように、社会の問題を解決する方法に気づきながらも、法人の規模によって問題解決の取り組みないでいることは、社会にとっての損失であり、NPO を支援する NPO が必要であると考えます。

そこで、社会の問題に気づき、解決に向けて活動する小規模な個人、団体、法人に対し、経済的に支援する事によって問題解決の促進を図るために、NPO 法人メッターフレンズを設立することとした。

NPO を支援する NPO となり、社会の問題解決に寄与し、人々が真の幸福を実現し、生きる喜びを得られることを期待する。

申請に至るまでの経過

釈尊の時代、布施は信者が出家僧侶に対して行うものであった。それが大乘仏教になり、出家僧侶の修行の一つとしても布施が行われるようになった。日本の大乘仏教の徒には布施が求められている。

これまで仏教の僧侶、信徒として、慈悲の心をもって、さまざまな問題に取り組む団体に寄附をしてきた。この寄附は言い換えれば布施である。

同じような行いをする者は多く、互いに情報交換をする必要性が生まれてきた。互いの寄附額を合わせれば高額となり、大きな力と成り得ることも分かってきた。今後も規模が拡大していくと予想されている。

そこで、体制を整えるために、NPO 法人の設立について検討し始めた。平成30年4月17日、代表者で集まり設立総会を開き、合意に達したので、今回の申請に至った。